

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 当法人は、当該事業年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
ソフトウェア・・・法人内における利用可能期間(5年)に基づき定額法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

流動資産合計	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
県長期貸付金	0	12,000,000,000	0	12,000,000,000
普通預金	1,507,300,000	0	1,507,300,000	0
小計	1,507,300,000	12,000,000,000	1,507,300,000	12,000,000,000
特定資産				
事業積立資産	0	17,882,222	0	17,882,222
小計	0	17,882,222	0	17,882,222
合計	1,507,300,000	12,017,882,222	1,507,300,000	12,017,882,222

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
県長期貸付金	12,000,000,000	(120,000,000,00)	—	—
普通預金	0	(0)	—	—
小計	12,000,000,000	(120,000,000,00)	—	—
特定資産				
事業積立資産	17,882,222	—	(17,882,222)	—
小計	17,882,222	—	(17,882,222)	—
合計	12,017,882,222	(120,000,000,00)	(17,882,222)	—

4 担保に供している資産

該当なし。

5 保証債務

該当なし。

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
地方債	12,000,000,000	12,000,000,000	0
合 計	12,000,000,000	12,000,000,000	0

※地方債の時価は公表されていないため、帳簿価額を時価とした。

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

内 容	金 額
経常外収益への振替額	
基本財産返還による振替額	1,507,300,000
合 計	1,507,300,000

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2 引当金の明細

該当なし。